



講師LINE株式会社
柴田保文氏



10月8日(土)青少対講座「LINEのご紹介と、子どもがインターネットを利用する際の注意事項」 ～みんなで考える情報モラルとコミュニケーション～

LINE株式会社 オフィシャルインストラクター柴田 保文さんより、ご講演をいただきました。

「皆さんは、LINEをお使いですか？ 便利で楽しく使っている人もいらっしゃると思います。

しかし、困ったことや、嫌だったことがある人もいます。LINEを使用する上で、インターネットの特性(公開性・記録性・拡散性)を考慮してください。正しく利用すれば安全でとても便利なアプリです。」

今回は、26名の皆さんにご参加頂きました。ありがとうございました。

11月6日(日)わいわいランド (やまゆり館まつり)

子ども達がアルバイト代としてスタンプをもらい、そのスタンプを使って色々なブースで遊びます。社会人になるための予行練習です。青少対は、「やまゆり茶屋」と「水あめ」のブースを担当しました。



<学校での取組>

- ・子どもが挨拶するよう先生から声をかけよう
- ・叱るべきときはきちんと叱ろう
- ・しつけは本来家庭の責任であることを親に伝えよう
- ・チームワークの中で競争と協力を学ばせよう
- ・奉仕活動を通して人に喜ばれる経験をさせよう
- ・仕事の体験を通して働くことの尊さを学ばせよう
- ・動物や植物の世話をさせ、命の尊さを学ばせよう
- ・学校を地域のひとと子どもがふれあえる舞台にしよう
- ・豊かな経験をもつ人や個性ある人材を講師として招こう
- ・ネット・ケータイとの関わりについて考えさせよう

<地域への期待・社会全体での取組>

- ・地域や近所の大人から子どもに声をかけよう
- ・地域の歴史、文化を大切にすることを育てよう
- ・子どもと一緒にまちをきれいにしよう
- ・まちの行事に子どもを積極的に参加させよう
- ・群れ遊びを復活させよう
- ・身近な地域で子どもの体験学習に協力しよう
- ・お年寄りから子どもに知恵や経験を伝える場を作ろう
- ・近所同士で子育ての「こつ」を教え合おう
- ・「ありがとう」や「ごめんなさい」を自然に交わそう
- ・迷惑行為を勇気をもって注意しよう
- ・有害情報を子どもの目にふれさせないようにしよう
- ・子どもが安心安全にインターネットを利用できる仕組みを作ろう
- ・子どもの育成に企業も貢献しよう

～大人が変われば、 子供も変わる～ “こころの東京革命”

●こころの東京革命ってなに？

「こころの東京革命」は、**親と大人が責任を持ち**、次代を担う子供の正義感や倫理観、思いやりの心を育み、**自らが手本となりながら**、人が生きていく上で当然の心得を伝えていこうという取組です。私たち大人は、未来を支えていく子供に、どのような社会にあっても守るべき基本的ルールがあること、社会の一員として役割と責任を果たしていくべきことを**自らの行動を通して**伝えていかなければなりません。

<こころの東京ルール>

(大人が子供の手本となろう)

- 一 毎日きちんと挨拶させよう
- 一 善いことは褒め、悪いことは叱ろう
- 一 ねだる子供にがまんをさせよう
- 一 先人や目上の人を敬う心を育てよう
- 一 体験の中で子供を鍛えよう



青少年対策川口地区委員会広報誌



青少対だより 16

◆青少対川口ホームページ
<http://seisyotai-kawaguti.org/>

青少対川口 検索

発行:八王子市青少年対策川口地区委員会
事務局:川口中学校内 TEL 042-654-2485

12月11日(日)川口中学校

「地域清掃」

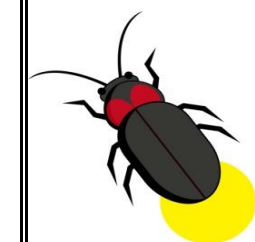


竹藪や水路の中に入って、ゴミ拾い。
例年よりゴミは少なめでしたが、まだまだ
ポイ捨てする人がいるんですね。
ボランティアのあとの豚汁は美味しかった。

「ホタルの鑑賞会」

八王子市立美山小学校 校長 松田寿大

美山小学校の周りには豊かな自然が多く残されています。昨年の6月18日には青少対の皆様のご尽力により、「めだかの学校」の一環として、多くの児童や保護者の方がホタルの鑑賞会に参加することができました。学校を出発して徒歩約10分、山入川の近くでたくさんのホタルが飛び交う姿を鑑賞することができ、大人も子供も大喜びでした。学校のすぐ近くにたくさんのホタルが飛んでいることに驚くとともに、ホタルがすぐ近くにいるという恵まれた自然環境を大切にしていかなければと思った瞬間でもありました。



ホタルの鑑賞会だけでなく、青少対の皆様には「あいさつ運動」「もちつき」「地域清掃」などでも大変お世話になっています。また、日常生活の中でも子供たちの生活や学校の教育活動に様々なご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。地域の子供たちの健全育成のために、今後とも何卒よろしくお願いいたします。



あいさつ運動

10月12日(水),13日(木)

はなしを聞こう
じかんを守ろう
あいさつは魔法のことば
そうじをしよう
みだしなみに気を配ろう




川口中学校



松枝小学校
PTAの皆さん、いつもありがとう



川口小学校
駐在さん、いつもありがとう

美山小学校
学校ボランティアさん、いつもありがとう

上川口小学校
駐在さん、いつもありがとう
あれ？今日はいないみたい

地域清掃活動

美山小学校区

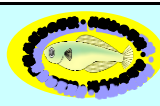


気持ちいい晴天のもと、地域清掃活動を行いました。最初に地域の人たちと「癒しの散歩道」の整備を行い、たくさんの枯葉を集めました。その後、みんなでワイワイしながら、通学路や小学校周辺のゴミ拾い。大人の人も大勢応援し、協力してくれました。みんなで頑張って、きれいになりました。参加者28名でした。ありがとうございました。

上川口小学校区



少し肌寒かったですが、活動するにはちょうどいい日、小学校周辺の清掃活動を行いました。子ども達をはじめ、小学校PTA、地域の皆様、碎石事業各社の方々など、総勢約100名のご協力をいただきました。ゴミ拾いは大切なボランティア活動ですが、ゴミを捨てないことは、もっと大切な活動です。



9月25日(日)上川口小学校区 「マスカみ大会」

会場となったのは上川中部会館前の川で、その日は前日からの雨で川の水がだいぶ増えてしまい、お父さん達が川の端を小さく区切ってくれて、そこでマスカみを行いました。捕まえたマスは自分達で焼いて、おいしく食べました。とても楽しい1日でした。
参加者は、幼児5名、子供42名、大人28名の計75人。



12月3日(土) 上川口小学校区 「ゆずり葉の集い」

わら細工のコーナーでは、地域の長老の方々のご指導で、しめ縄を作ったり、竹細工で遊び道具を作りました。ベーゴマやコマ、羽子板での羽根つきなど、昔ながらの伝承遊びを親子で楽しみました。遊んだあとは、温かい豚汁でお腹いっぱいになり、大満足！参加者は総勢135名でした。



今回は、全国的にもちつきの自粛が騒がれ、つきたてを食べられず、鏡餅やのし餅にして自宅を食べました。

12月10日(土) 美山小学校区 「もちつき大会」

快晴の中、子ども達は重たい杵を振り回します。いくら子ども用の軽い杵とはいえ、低学年の子ども達は、杵に振り回されているようです。子ども達からは、笑顔がこぼれます。きっと思い出に残る楽しい日になったことでしょう。

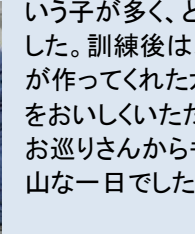
1月14日(土) 上川口小学校区 「どんど焼き」

今冬で最も寒い日でした。どんど焼きの炎は身体を温めるには最適ですが、近づきすぎると、熱すぎて顔が真っ赤になってしまいます。どんど焼きは、松飾り、だるま、しめ縄、お札などを焼いた火と煙で、お正月に迎えた年神様が天に戻ると言われていて、その火でまゆ玉というお団子を焼いて食べると、その年は風邪をひかないとも言われています。子ども達も地域の皆さんと一緒に、前日にPTAのお母さん達が作ったまゆ玉を焼いて食べました。今年も風邪をひかず、元気に過ごせる1年になることでしょう。



2月25日(土) 川口小学校区 「防災セミナー」

川口小学校で行われた防災訓練には、約100名の参加がありました。最初に消防士さんの解説でDVD「煙の怖さと避難のポイント」を視聴したあと、みんなでアルファ化米にお湯を入れました。その後は3班に分かれ、順番に「起震車で震度7の体験」「煙の中を逃げる訓練」「消火器での初期消火訓練」にチャレンジしました。どれも初めてという子が多く、とてもいい経験になりました。訓練後は、PTAのお母さん達が作ってくれたカレーでアルファ化米をおいしくいただきました。お巡りさんからもお土産があり、盛沢山な一日でした。



※12月23日に予定されていた松枝小学校区の「もちつき大会」は、胃腸炎流行のため、中止となりました。